

生徒及び保護者の皆様

令和2年4月21日
東京家政学院中学校・高等学校
校長 佐野金吾

「休校中の教育課程の変更に関するお知らせ」

ごきげんよう、休校中の生活はいかがですか。登校もできずに家庭で過ごす時間がかなり長期間になりましたがお変わりありませんか。校長としては生徒の皆さんが健康で過ごしていることを心より願っています。

生徒の皆さんが学校生活から離れて家庭でどのように勉強に取り組んだらいいのか先生方もいろいろ工夫しています。各学年では、それぞれの学年の勉強に対応できるよう学習課題を用意したり、ICTを活用したりして、学校の勉強や学習習慣が途切れないように取り組んでいます。

休校の期間が長くなりましたので当初計画していた教育課程の大幅な見直しをしなければなりません。

まず、4月8日から7月21日までの1学期の授業などの教育活動が予定通りにできませんので1学期の終業式を8月6日に変更し、2学期は8月25日からと予定しています。また、1学期の宿泊を伴う学校行事は新型コロナウイルス感染のリスクを避けるため中止とします。さらに、1学期の教育課程の変更に伴い5月に予定していた中間試験も中止とします。なお、休校中の学習評価に関しては、文部科学省初等中等教育局長名4月10日付けの通知では、教師が家庭学習の状況や成果を確認して学習評価に反映することができるとあります。本校では、日頃から学習評価に関しては単に中間試験などにおけるペーパーテストだけでなく、ワークブックや書き込み式のプリントの活用、レポートの作成など学習活動の成果が確認できる様々な評価情報によって総合的に行っています。